

令和4年度 学校関係者評価報告書

学校法人 立志舎
大阪動物専門学校
学校関係者評価委員会

自己点検・自己評価実施委員会が作成した「令和3年度自己評価表」を基に学校関係者評価を行いました。その結果を以下の通り報告いたします。

1. 令和4年度学校関係者評価委員会

<委員> (五十音順)

礒山 倫花氏 オアシス動物病院 看護師長
大西 佑来氏 株式会社UG Dogs Come home 店長
大西 里奈氏 株式会社majun-family Natural Pet Space majun
大引 健氏 株式会社ケイディーシー トリミング課 課長
奥村 唯氏 Dog salon Rapport オーナー
高橋大二郎氏 大東電機工業株式会社 営業部 次長
道満 直樹氏 有限会社ペッツピー・ディー 代表取締役
橋本 一将氏 株式会社AHB PetPlus 大日店
畑中 学氏 株式会社ヘイドッグズ 代表取締役
森本茅紗記氏 ル・レーヴ動物病院 看護師長

<事務局>

武田 知也 大阪動物専門学校 校長
山下 浩 大阪動物専門学校 教務部課長
久保 文武 大阪動物専門学校 教務部課長

2. 基準項目ごとの学校関係者評価・意見

項目	評価・意見
基準1 教育理念・目標	<p>イ. 理念、目的、育成人材像は定められているか ロ. 学校における職業教育の特色は何か ハ. 理念、目的、育成人材像、特色、将来構想などが学生、保護者等に周知されているか ニ. 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか</p> <p>学園の基本目標として、『学生から信頼され支持される学校づくり』を掲げ、受付や教務室、就職相談室などにも掲示し、教職員一丸となって取り組んでいます。これら、理念・目的・育成人物像は教職員には周知徹底しております。</p>

	<p>また、本学は独自の教育システムである「ゼミ学習」を通して、動物およびビジネスに関する資格を取得し、実習を行うことにより幅広い知識や技能を身に付け、動物業界のみならず異業種企業にも就職しております。</p> <p>この基準1についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 実習生を受け入れているが、他校と比較してもコースごとの目的や目標が明確である。他校では、学習内容が幅広過ぎてコースの目的がぼやけている学校もある。</p> <p>(2) コロナ禍であっても、資格取得や就職内定率などで実績が出ているのは、理念、目的がはっきりしているからと感じる。年1回講演をしているが、明るく反応が良い学生が多いと感じる。</p>
<p>基準2 学校運営</p>	<p>イ. 目的等に沿った運営方針が策定されているか ロ. 運営組織や意思決定機能は規則等において明確化されているか、有効に機能しているか ハ. 人事、給与に関する制度は整備されているか ニ. 教務、財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか ホ. 教育活動に関する情報公開が適切になされているか ヘ. 情報システム化等による業務の効率化が図られているか</p> <p>運営組織図があり、それに従って運営されています。各部署には学校の目標達成のために数値目標が明確にされており、各部署の役割と権限、人的体制が十分に整っています。日常的な意思決定は、管理職がしております。学校間の調整は企画本部または学園協議会で行っており、理事会、学園協議会、責任者会議、課会議、動物企画会議といった意思決定プロセスが制度化され、その権限を明確にしており、意思決定システムは確立されている。全教職員にパソコンを貸与し情報共有の効率化並びに業務改善に取り組んでおり、学生に対してはMicrosoft アカウントを付与し、オンライン授業等行える環境を整えている。</p> <p>この基準2についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 職員が学園の方針に従って業務に取り組まれていることが理解できた。在学生の年齢層を見ると対応で苦労される部分もあると思うが、学生への対応が的確であれば、就職後の上司や同僚への対応も良いものになると思う。</p> <p>(2) 特に関西地域の2校については、入学者数の伸び率を見ても適切に運営されていることがわかる。</p>
<p>基準3 教育活動</p>	<p>イ. 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか ロ. 教育理念、育成人材像や業界の人材ニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか ハ. 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか ニ. キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工</p>

	<p>夫・開発などが実施されているか</p> <p>ホ. 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか</p> <p>ヘ. 授業評価の実施・評価体制はあるか</p> <p>ト. 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか</p> <p>チ. 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか</p> <p>リ. 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教職員を確保しているか</p> <p>ヌ. 教職員の能力開発のための研修等が行われているか</p> <p>平成 26 年の職業実践専門課程がスタートして以降、現場で活躍されている各分野の専門家によって授業、実習を行うことで知識と技術を学ぶ環境を整えられてきました。また、年 2 回開催する教育課程編成委員会 で外部委員の意見を参考にし、カリキュラム作成委員会において業界のニーズに対応できるよう、必要な科目を体系的に編成し、定期的に見直しを行っています。</p> <p>職員も授業、実習のサポートをする場面もあり、学生対応の質の向上のために講習会、研修会に参加し、知識や最新情報の習得を行い自己啓発に努めています。</p> <p>この基準 3 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 現場のプロが授業、実習を行っている環境は良いと思う。実習生に授業や実習のことを聞いた際にも、自分が学生の頃と比べると変化していると感じていた。職員の先生方が、学生指導面で講師のフォローをすることも大切だと思う。</p> <p>(2) 実習機材も充実し、実習も増えているのは良い。実習生を見て感じるのは、実習に積極的に参加できる学生と消極的な学生で差を感じる。皆が均等に実習経験を積めるよう配慮していく必要がある。</p>
<p>基準 4 学修成果</p>	<p>イ. 就職率の向上が図られているか</p> <p>ロ. 資格取得率の向上が図られているか</p> <p>ハ. 退学率の低減が図られているか</p> <p>本学は、就職担当者と担任が連携を取りながら学生の就職活動サポートを行っております。また、学内就職セミナーを開催し例年多数参加していただいております。さらに毎週就職会議を行いその結果を前年度と比較して推移を把握しており、同時に就職部が学園全体も把握し学園内各校とも比較しています。</p> <p>学園内の各校と定期的に資格取得率向上のカリキュラム会議を開き、試験内容に変更がある場合には、その内容にすぐに適応できるように体制を整えております。</p> <p>退学のおそれがある者、学業に悩みがある者等を早期に見出し、その学生には担任から働きかけ、その原因を取り除き解決に導く等の指導をしております。</p>

	<p>この基準4についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。</p> <p>(1) 就職率や検定合格率を見ても向上が図られていると感じる。実習生を見ても、質問ができる学生、やる気のある学生が多い。</p> <p>(2) 自分が学生の頃は、資格取得の大切さをしっかりと認識できておらず、開業するにあたり資格の重要性を認識した。合格率は100%を目指す上でも、資格取得の重要性を学生に認識させていく必要があると感じる。</p> <p>(3) 他校は分野に特化した勉強や資格取得しにくい、様々な分野の資格取得ができるのは良い。それぞれの資格取得の意義についてしっかりと伝えていく必要があると思う。</p>
<p>基準5 学生支援</p>	<p>イ. 進路・就職に関する支援体制は整備されているか ロ. 学生相談に関する体制は整備されているか ハ. 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか ニ. 学生の健康管理を担う組織体制はあるか ホ. 課外活動に対する支援体制は整備されているか ヘ. 学生の生活環境への支援は行われているか ト. 保護者と適切に連携しているか チ. 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか</p> <p>本学では、就職相談室を設け、就職担当者及びクラス担任が学生の就職指導を行っています。また、進路決定のための就職・公務員ガイダンスや人事担当者を招き学内就職セミナーを実施し開催しています。</p> <p>学生相談室が設けられていますので、学生は担任以外に相談室の担当者に相談することができます。学生相談室は、匿名での電話相談にも応じており、保護者もクラス担任だけでなく、学生相談室や就職相談室を利用できるようになっています。</p> <p>学生の経済的側面に対する支援体制として特別奨学生試験、各種特待生制度を設けています。</p> <p>また、学校保健安全法に基づき年に1回4月に全学生を対象に定期健康診断を実施しています。</p> <p>そして、ドッグスポーツクラブをはじめ、野球部、サッカー部、応援団、チアリーダーなどのクラブ活動や、体育祭、学園祭、球技大会などの課外活動を感染予防に留意して行っています。最後に保護者には定期的に出席状況や成績表などの各種お知らせの発送を行い、また必要に応じて保護者と連絡を取り連携を取っています。</p> <p>この基準5についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学費支援制度については、自分自身も助けられたので良い制度だと思う。卒業</p>

	<p>後も学校に訪問しやすい雰囲気がある。</p>
<p>基準6 教育環境</p>	<p>イ. 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか ロ. 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか ハ. 防災に対する体制は整備されているか</p> <p>施設・設備設置基準に基づき教室、実習室、教員室、事務室などを設置し、維持管理については学内の担当者が専門業者に依頼し、定期的な点検整備を実施しております。また、防災指導担当者を規定し、定期的に防災訓練を行っております。</p> <p>ペット関連のイベント、訓練競技会の見学・動物関連施設等の学外実習のドッグセラピー活動、海外ペット研修を実施するなどの教育体制を整備しています。</p> <p>また、学生が希望するインターンシップ先の受け入れ依頼を行っております。受け入れ先からは評価書を記入していただき、学生指導に反映することで就職内定へとつながっています。</p> <p>この基準6についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 教育環境については問題ないと思う。立地条件、設備、空間も充分であると感じる。 (2) インターンシップにおいて学生によって温度差があると感じることがある。学生との面談等を通じて、場合によっては動物分野以外の就職を勧めても良いと思う。就職率が下がったとしても、就職満足率の向上が図れば、学校の評価は下がらないと思う。</p>
<p>基準7 学生の受け入れ募集</p>	<p>イ. 学生募集活動は、適正に行われているか ロ. 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか ハ. 学納金は妥当なものとなっているか</p> <p>入学案内書、媒体誌、ホームページ、テレビ広告は、毎年きちんと把握している合格状況や就職率に基づき作成し、内容や表現において真実性、明瞭性、法令順守が必要であることを認識し広報を中心に作成しています。</p> <p>学納金については、本学は法人単位での財務公開体制をとっており学納金が適正かつ公正に使用されていることを明らかにしております。現状は問題ないと思われていますが、社会状況の変化を絶えず見据えながら検討していく必要があり、変更が必要な場合理事会・評議員会の承認を経て学則を変更します。</p> <p>この基準7についての自己評価は委員の方々から「適正」と評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 学生募集活動については、十分に結果として表れているため、他校と比較しても問題ない。</p>

<p>基準 8 財務</p>	<p>イ. 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか ロ. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ハ. 財務について会計監査が適正に行われているか ニ. 財務情報公開の体制整備はできているか</p> <p>財務全般については、少子化傾向が続く中、財政基盤を中長期的に安定させていく必要がある。予算の編成及び執行に関する規程は、寄附行為、経理規程に定められており、予算の編成は適切な手続きを経た上で確定し、予算を執行している。</p> <p>会計監査については、監事 2 名が事業説明を受けて、財産目録、貸借対照表、収支計算書によって会計監査を実施している。その結果を監査報告書に記載し、理事会及び評議員会へ報告している。</p> <p>私立学校法第 47 条に基づき、財務情報として財産目録、貸借対照表、収支計算書、事業報告書、監事監査報告書を作成し、公開している。さらに、ホームページ上では事業の概要、財産目録、資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表を公開している。</p> <p>以上の点から財務については適切に運用及び管理されている。</p> <p>この基準 8 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、適切に運用及び管理されていると評価された。</p>
<p>基準 9 法令等の遵守</p>	<p>イ. 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか ロ. 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか ハ. 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか ニ. 自己評価結果を公開しているか</p> <p>教職員には毎年人権研修の受講を義務付け、その他必要に応じて研修等に派遣し、資料を配布するなどをして法令遵守規程を実施しています。個人情報保護規程、プライバシーポリシーを設置し、学校の保有する情報を委託業者に取扱わせる際には、覚書等で保護の徹底を行っています。学生には担任を通じて個人情報の取扱いについて注意喚起を行っています。</p> <p>本学では「自己点検・自己評価委員会」を設置し、学校評価研究機構の基準により、点検、評価を行っております。その結果を「自己評価表」としてホームページ上で公開しており、学校関係者評価委員会で報告し、評価を頂いております。</p> <p>今回、委員の皆様からいただいた評価、意見についても問題点の改善に努めてまいります。</p> <p>この基準 9 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見があった。</p> <p>(1) 動物病院での実習においては、見学の時間が長くなる傾向にあるが、その中でも「何をしたら良いですか」が言える学生がいるのは良い。学生時代は挨拶や掃除について繰り返し指導を徹底された記憶がある。受入れ側、指導する立場</p>

	<p>となり積極的に挨拶と掃除ができる実習生は、高く評価されることがわかった。今後もそれらの指導を継続してもらいたい。</p> <p>(2) 実習生に対しては、仕事ができることは期待せず教えてあげるスタンスで受け入れている。職場において良好な人間関係を築く方法、仕事の魅力など、現場に出て初めて分かること、教えられることもあります。場合によっては、業界に向いていないことを伝える場合もある。</p>
<p>基準 10 社会貢献・地域貢献</p>	<p>イ. 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ロ. 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか ハ. 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等)の受託等を積極的に実施しているか</p> <p>開校時より、家庭飼育犬をモデル犬として無料でグルーミングを行っております。地域との連携、交流が社会貢献となり、また学校の発展につながるという観点で、特別養護老人ホームでのドッグセラピー活動やペット関連イベントには学生がボランティアスタッフとして参加し、地域との連携を行なっています。地域に対する公開講座・教育訓練の受託及び実施についてはコロナ禍ということもあり、実施できておりません。</p> <p>この基準 10 についての自己評価は委員の方々から「適正」とであると評価され、次の意見や質問があった。</p> <p>(1) 在学中は、ドッグセラピー活動は行なっていなかったもので、良いと思う。継続して取り組んでももらいたい。</p> <p>(2) モデル犬グルーミングに関しては地域貢献という側面の他に、学生のコミュニケーション力の向上という面でも有効である。犬とは仲良くできるが、人とのコミュニケーションが苦手な人が増えているので、預かりとお返しの際に、飼い主様と話しをする機会があることで、コミュニケーション力を身につけることができるので、継続して取り組んでいただきたい。</p>